

輸出事業計画

※申請者名：合同会社海楓社

品目：玄米粉及びブレンド加工品

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- ・建設業主体の会社であるため、輸出実績はない。
- ・小麦粉や白米中心の食文化の中、栄養価の高い玄米を使用した玄米粉文化を広めるため、玄米粉工場を立ち上げた。
- ・グルテンフリーの需要が高いアメリカに対して、日本製玄米粉の輸出販売を決めた。

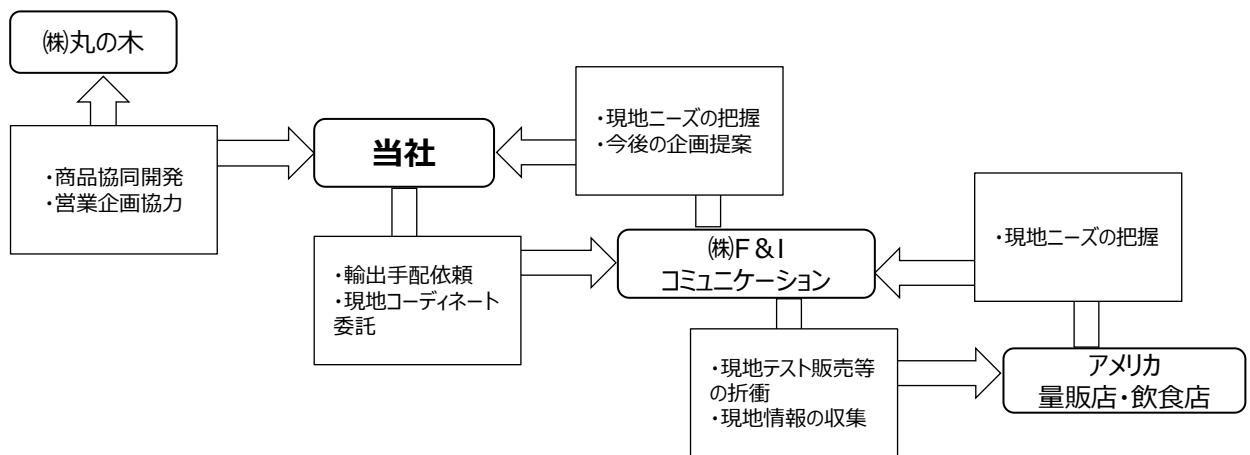
【課題】

- ・オーガニック品であることをセールスポイントにするため、有機玄米の安定的な確保が必要である。
- ・製造工程において、ISO22000に準拠し、微生物学的汚染や物理的有害物の混入を防ぐ設備整備が必要である。
- ・アメリカでは、日本産玄米粉を販売している量販店等がないので、認知拡大のPR活動が必要である。

2. 輸出事業計画の取組内容

- ・国内生産者が集まる展示会等に参加し、多くの有機玄米の仕入れ先と接点を持ち、輸出に耐える良質な玄米粉の製粉を行う。
- ・ISO22000の取得を念頭に、専門家のアドバイスのもと、玄米粉用摩擦乾燥機等の一体性のある機器等を導入する。
- ・アメリカの流通市場に精通している業務提携者と連携し、現地テスト販売や試食会を行い、消費者に対し、当社製粉品の魅力を周知する。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

	現状 (R5. 1 月)	現状 (R10. 1 月)
輸出額 (千円)	0	100,000
輸出量 (k g)	0	46,000